

名古屋大学農学部・生命農学研究科同窓会関西支部  
**関西セコイア会同窓会報 第九号**

名古屋大学農学部・  
生命農学研究科同窓会  
セコイア会



名古屋大学農学部・生命農学研究科同窓会 セコイア会

目次			
お知らせ			1
私の海外旅行と国内旅行	入野 哲朗	昭 54林産	4
桜を楽しみながら思うこと	馬路 泰藏	昭 40 農化	9
近況報告	堀 龍彦	昭 43 畜 M	13
定年後の夢	加藤 壽郎	昭 45 農 M	16

(ご寄稿いただいた順に、掲載しております)

(本冊子の著作権は冊子の著者およびまたは関西セコイア会が保持しています。)

## お知らせ

関西セコイア会は、名古屋大学農学部・生命農学研究科同窓会の関西支部として活動を続けております。主な活動は、11月第一土曜日の総会・講演会・懇親会の開催、3月と9月の年二回、関西セコイア会同窓会報の配信、また、名古屋大学全学同窓会関西支部への参加です。

昨年の総会は、11月1日に大阪中央電気倶楽部にて、11月1日に、18名の方にご参加いただき、第18回の関西支部総会を開催いたしました。新しく参加された方も加わり、昨年よりも参加人数が増え、例年以上に盛り上がった同窓会となりました。今回は、名古屋大学大学院生命

農学研究科長・農学部長の中園幹生先生にお越しいただき、名古屋大学農学部・生命農学研究科の近況をご説明いただくとともに、ご専門の研究に関連して、作物研究による持続型農業への挑戦と題して、ご講演いただきました。大学の近況のお話の中では、あらためて、名古屋大学農学部が、時代の要請に従った形の新たな生命農学へと進化してきている姿を目の当たりにしました。また、海外の大学とジョイント・ディグリープログラムといった新しい取り組みをされており、感銘を受けました。つづいて、作物研究による持続型農業への挑戦のお話では、まさに農業の本流のお話をいただき、大変興味深く聞かせていただきました。畑作物の湿害が今後増加して問題となるであろうことを見越して、耐湿性作物の育成を目指しておられる研究には、昔、学んだことを思い出し、深い感銘を受けました。

午前中にご講演をいただき、午後は、楽しい懇親会を行いました。いつものように3時間の長丁場の懇親会です。ご参加いただいた方全員に、近況や最近の思いなどを語っていただき、楽しい団欒となりました。同じ大学の学部で学んだという経験を土台として、お互いを信頼し、胸襟を開いてお話していただく姿を見ていると、本当に素晴らしい会であると実感いたしました。参加された方に心より感謝いたしますとともに、これまでご参加の機会がなかった方も是非一度お越しください。

関西支部は、支部長：加藤壽郎、事務局長：寺前朋浩、会計：井野右文、会計監査：野村章、幹事：入野哲朗、駒田肇、大賀久美子、沖森泰行の8名で運営してまいりましたが、活動のさらなる活発化を目指して、この度、新たに、長谷川章子さんに幹事として加わっていただくことになりました。幹事会を年二回開催して、活動の充実を図っていくつもりであります。



#### 今年度同窓会のこと

なお、今年度、令和8年の同窓会関西支部総会は、11月7日(土)を予定いたしております。日時が近づきましたら、再度、ご案内いたしますが、予定しておいていただければ、ありがたく存じます。

日時：令和8年11月7日(土) 10:00~15:00

場所：大阪中央電気倶楽部

(支部長 加藤壽郎 昭45 M)

#### 関西セコイア会の現在の役員

支部長	加藤壽郎 (昭45 農 M)
事務局長	寺前朋浩 (昭61 生 M)
会計	井野右文 (平4 農 M)
会計監査	野村章 (昭45 農 D)
顧問	入野哲朗 (昭54 林産)
顧問	駒田肇 (昭55 林産 D)
顧問	大賀久美子 (昭54 農化)
顧問	沖森泰行 (昭56 林)
顧問	長谷川章子 (昭56 農化)

## 私の海外旅行と国内旅行

入野哲朗（昭54林産）

大学4年生の8月に初の海外旅行として、インドネシアのジャワ島からバリ島を2週間にわたって、回ったのが初めての旅と言えるものだったかと思う。

留学生で研究室に在籍していたザイナル・ムッタキンさんの勧めで、大学院の先輩との珍道中であつたが、今でもその時の記録と記憶が残っている。

8月15日の夜、名古屋を出発して、成田から週2便しかないセンパティ航空を利用したのが今でも懐かしい。

当時はお金もなく、帰りの便をオープンチケットにしていたため、8月24日の便、28日の便が取れず、最終的にキャンセル待ちで31日の便で帰国したのは48年前の9月1日の朝であつた。

この時以来、「海外旅行では十分なお金をもっていくこと」を教訓にしてきたが、もう一つの教訓としては「二度と来られないかもしれないので、行けるときには行っておこう」ということである。

おもしろいことに、二度と来られないかもしれないから、無理してでも行こうと思って、行ったところなのに、その後、もう一度行くことができたところも数多い。

オーストラリアのグレートオーシャンロード、タスマニアのクレイドルマウンテン、ドイツのライン下り、などは10年以上経過してから再度行くことができた。

NZインバカーギル 2018年11月世界最南端のマグドナルド



元々海外旅行にそんなに興味があったわけではないが、仕事の関係で1984年に韓国に駐在して以来、1991年に社内旅行で香港に、1993年には木工機械展見学のため、フランスのパリ、ドイツのハノーヴァー、1994年にはNZのランギオラ、クライストチャーチからネルソンへ、1995年に社内旅行でハワイ、1998年に木工機械展でマレーシアのジョホールバルからシンガポール、1999年から1年半ほどオーストラリアのタスマニアに駐在、2005年、2007年に木工機械展でスウェーデンのサンドビケンやドイツのハノーヴァー、2007年にマレーシアのミリ、2008年、2011年、2012年にNZのランギオラ、クライストチャーチ、2015年に木工機械展でドイツのアルフェルト、ハノーヴァー、2018年にもNZのランギオラ、クライストチャーチ、インバカーギルと、やはり、ドイツ、マレーシア、NZ、オーストラリアが際立って多くなっている。



タスマニアローンセストン  
空港2011年

このなかでやはり思い出に残っているのが1993年のライン下りだろうか？

2週間の出張中の土日が休養日だったこともあり、一緒に出張中であつた兼松の担当者の加藤正人君が「せっかくの休みなのでライン下りをしませんか？」と誘ってくれたことがきっかけである。

会社の同僚や同行していた兼松の二人とヤマハの二人は「温泉でのんびりしている」ということで、二人でライン下りを楽しむことにした。

宿泊していたのは有名な温泉地であるウィーズバーデンで、ライン下りの出発地であるマインツまでタクシーを飛ばして、朝8時の便に乗ることになった。

5月の半ばではあつたが、少し肌寒い気候で、上着を着ていても船の上では寒く感じた。

最終的にはコブレンツまで約6時間の船旅であったが、非常に面白い時間を過ごした。  
ローライの近くでは乗客全員が船の片側に寄って、歌を歌いだすなど、面白い経験だった。  
また、軽食を取ろうとして、パンケーキやコーヒーを頼んだ後、お金を払おうとしたら、後で取りに来るといったきりで、結局支払わないまま、下船したり、面白いことだらけであった。

コブレンツで少し散策した後、ライン下りの逆コースを電車で帰るのだが、途中のリュエデスハイムで下車して、観光した後に近くの酒場でビールとソーセージを食べたりした。

リュエデスハイムからウィーズバーデン方面の電車が中々来なくて、最終的には夜遅くホテルについた記憶がある。

インドネシア旅行でもそうだが、若い時の旅行というのは結構無茶なことをしてきたと思う。  
こうした経験からか、今でも行先とホテルだけ前もって決めておいて、その後はフリータイムとして、直前に目的地を決めるという無計画の旅行を続けている。

最近では大阪の夏の暑さに耐えかねて、涼しい北海道の釧路での滞在を2年続けて行っている。

一昨年、7月15日～20日まで北海道旅行をしたが、札幌に妻の友人が住んでいることもあって、新千歳経由を計画した。

この時は、「摩周湖、屈斜路湖、阿寒湖だけは行ってみたい」また、「炉端で美味しい魚を食べたい」の2点だけは何とかしたいと考えて、二つとも実行した。

しかしながら、新千歳から釧路まで「特急おおぞら」に乗ることにしたのであるが、乗車時間が4時間以上かかることもあり、時間がもったいないと考え、昨年は関西空港—釧路直行便のあるピーチ航空を利用した。

期間も一番暑いと思われる7月27日～31日の4泊5日である。

直前の予報では30度になるのかと多少驚いたが、最高気温24～25度でとても過ごしやすかった。

今回は、「釧路湿原見学」「ノロッコ号に乗車する」「厚岸と根室半島、春国岱に行く」の3点を目的に、時間があれば再度、摩周湖に行くという計画で実施した。



釧路たんちょう空港

ほぼ計画通りに旅行できたのであるが、最後にとんでもないことが起きた。  
4日目の朝8時25分にカムチャツカ半島で大地震が起きたのである。  
車に乗って、釧路湿原に向かう途中であったが、地震警報のサイレンと津波警報のサイレンが鳴り続けているのである。

大した地震でもないと思って、釧路湿原公園に向かって、9時半には到着して車一台止まっていな  
い広大な駐車場に車を置き、遊歩道の散策を行っていたのであるが、戻ってきた10時半過ぎに、  
駐車場は車であふれかえっていて、入口の道路まで連なっていたのである。

「え！観光客がこんなに来るんだ」と思って、受付の事務員さんに聞いたら、「津波警報がでたの  
で、市民が避難してきている」「ここは避難指定区域なので」と返事が返ってきた。

その次に携帯電話が鳴って「駅レンタカーですが、津波警報が出たので、営業所を閉じます。車  
は返却しなくても良い、延長料金も取りません、我々も避難する」という話である。

半信半疑で、夕方には解除されるから返却できるだろうと勝手に考えて、そのまま、摩周湖、屈  
斜路湖を見学して最後に恩根内木道を散策して、4時半に釧路市内に帰ってきたのであるが、宿  
泊していたANAクラウンプラザでは平面駐車場も地下駐車場も閉鎖で横にあるタワーパーキング  
に駐車してくれというのである。

しかもできるだけ高いフロアーに！

大変なことが起きていると感じて、炉端の店を予約しようと探したところ、どこも臨時休業ということ

が分かり、急遽、ホテルのレストランを予約しようとしたら、「予約でいっぱい」との返事が返ってきた。

これはいよいよ夕食難民かなと思いつつもコンビニなら空いていると思い、釧路駅まで歩いたところ、すべての店が臨時休業でJR釧路駅も閉鎖されていた。

最後に釧路プリンスホテルに寄ったら、かろうじて売店が開いていて、カップ麺とせんべい類を購入して部屋に戻るようになった。

次の日にエレベーターで出会った人が「この近所に住んでいるが、避難警報が出たので、このホテルに避難してきた」と聞いてびっくり。

いろいろと聞いてみると、あまりニュースになっていなかったが、311の時に釧路市内も津波でかなりの被害を受けたとのことである。特に釧路港付近や釧路川流域はひどかったらしく、そのトラウマか「3mの津波予報で高台に避難」となったようである。

我々のような旅行者にとっては大変な一日であったが、前日の根室半島付近に行っていた時でなくて幸運であった。もし、東海岸の方だと渋滞で身動きできなかったかもしれないとガソリンスタンドの従業員に言われ、なるほどと思ったものでした。

ともあれ、今年も暑い時期に再度、釧路に行きたいと今から計画を立てようとしている。



納沙布岬

## 桜を楽しみながら思うこと

馬路 泰藏（昭和40農化）

フレイル予防を兼ねて、天気のよい日はできるだけ散歩することになっている。散歩をしていると、いつの季節でもさまざまな花を目にし、楽しむことができる。中でも、樹木の花は季節の移ろいをはっきりと知らせてくれる。3月は、梅の花が終わり、桜の待ち遠しい時期である。



王子動物園ハンター邸前のソメイヨシノ（2021.3.30）

桜の名所の樹種は、ソメイヨシノ(染井吉野)が多い。これは、ソメイヨシノは樹全体をピンク色に覆う花が素晴らしいだけでなく、暖かくなって花見に適した時期に見頃になるからであろう。ほぼ同じ頃に咲くオオシマザクラ(大島桜)は気づかない人もいると思うが、ソメイヨシノより花が大きくて白い。オオシマザクラを主役にする名所は聞いたことがないが、落ち着いた風情のある桜だと思っている。



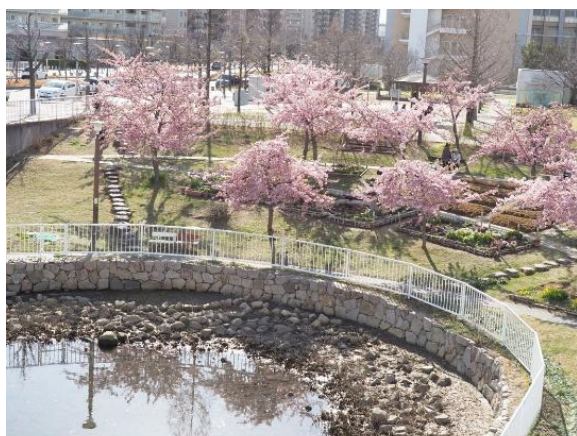
ソメイヨシノ(上)とオオシマザクラ(下)  
(しあわせの村 2020.4.3)



オオシマザクラの花（しあわせの村 2020.4.3）



ソメイヨシノの花（しあわせの村 2020.4.3）



カワヅザクラ (西郷川河口公園 2026.3.4)

の黄色との美しいコラボレーションをみることができるが、これはボランティアの尽力で早咲きの葉の花が栽培されているからである。

神戸市灘区内を散歩しているうちに、西郷川河口公園でカワヅザクラ(河津桜)を見つけた。カワヅザクラは、花が大きくてピンク色が濃い華やかな桜で、2月末から3月初めにかけて見頃になって春の訪れをいち早く告げてくれる。この公園では、カワヅザクラのピンクと葉の花



カワヅザクラの花 (西郷川河口公園 2026.3.4)

カワヅザクラは早咲きのカンヒザクラ(寒緋桜)をオオシマザクラの雑種としてできた品種であり、ソメイヨシノは父方をオオシマザクラ、母方をエドヒガンとして作られたこのようにオオシマザクラは、早春、春本番をいろどる桜の品種を生み出した桜である。また、オオシマザクラの葉は塩漬けして桜餅に使われる。さらに、オオシマザクラは日本固有種であることから、もっとクローズアップしてよいだと桜と思う。



カンヒザクラの花 (西郷川河口公園 2020.3.4)



ヒマラヤザクラ (山手幹線沿い 2024.1.6)

花を撮影してきたが、1月末には葉桜になっていた。この樹の花と比べてみると花の特徴が同じで、同じ時期に開花しているのので、山手幹線で見つけた桜はヒマラヤザクラだと確認することができた。

— 昨年の1月6日に山手幹線を散歩していた時、満開の桜を見つけ、四季桜がこんな所にもあるんだと思った。最近になってヒマラヤザクラが新生田川と国体道路との交差点にあることをインターネットで知り、年末に咲いている



ヒマラヤザクラの花 (山手幹線沿い 2024.1.6)

さらに、もっと早くから咲く桜もある。その一つは、西郷川河口公園にあるジュウガツザクラである。この桜は10月後半に咲き始め、ソメイヨシノの咲く翌年4月まで咲き続ける。しかし、小さめの花がまばらに着くので、目立たないのが惜しいと思う。



ジュウガツザクラと菜の花 (西郷川河口公園 20206.1.31)

このように、桜は4月だけでなくほぼ半年にわたって花を楽しんできた。しかし、桜の花のこんな楽しみ方が、今後も続けられるのだろうか。今年のはじめに護国神社を訪れたとき、クビアカツヤカミキリが確認された桜の樹を伐採すると掲示されているのを見つけた。クビアカツヤカミキリは幹の強度を著しく弱くして倒木の危険が増すため、樹を伐採しなければならない。すでに、クビアカツヤカミキリの蔓延を防ぐために桜並木が皆伐されたことも報道されている。



桜の樹の張り紙（護国神社 2026.1.6）

特定外来生物クビアカツヤカミキリはきわめて繁殖力が強く、幼虫は幹の奥深くで生息するので、殺虫剤で防御することが難しい。そのため、クビアカツヤカミキリが確認されると、その周りの樹を含めて皆伐・焼却する方法がとられている。こうした「乱暴な」方法をとらざるを得ないのは、こんな事情によるものである。さらに、地球温暖化によって冬の低温がなくなって休眠打破ができず、ソメイヨシノが開花しなくなることが懸念されている。こうしてみると、桜の花を楽しめる状況を続けていくには、多くの課題が私たちに課せられていると言えよう。

岐阜県本巣市根尾にある薄墨桜は、先人の努力によって千年以上にわたって守られてきた。そのような先人の尽力に敬意をはらうとともに、よりよい自然環境の保全できるように私も努力しなければと考えている。



薄墨桜（2014.4.13）

## 近況報告

堀 龍彦(昭43畜M)

令和8年(2026年)春

皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

このたびは、取り急ぎ、日々感じていることを含めて近況をご報告いたします。

### ■ 家内の他界から一年を経て

昨年(令和7年)2月5日に、妻が悪性のスキルス胃癌にて他界いたしました(享年80)。今年の2月5日には、早くも一周忌を迎えました。あっという間に一年が経過してしまったようでもあり、あまりにも長く辛い一年であったようでもあり—正直、その感覚をうまく言葉にできません。

振り返れば、妻が胃癌と診断されたのはコロナ禍が落ち着き始めた頃の令和4年(2022年)9月初めのことでした。それからわずか2年5か月にも満たない余命でした。欲張りと言われるかも知れませんが、せめて女性の平均寿命である87歳余まで生きていてくれたなら……と、今もそう願わずにはいられません。

昨年は世間並みに、3月22日に四十九日の忌明け法要を、8月15日には初盆を無事に済ませることができました。そして先月(2月)、一周忌もひっそりと終えたばかりです。

### ■ 独り身の日々～「家内の偉大さ」を今更ながら痛感

「男子厨房に入らず」が当たり前だった時代を生きてきた私にとって、妻が逝ってからの生活は、まさに毎日が試練の連続です。炊事、洗濯、買い物、その他諸々の日常の用事—かつては二人で分担していたすべてを、今は一人で切り盛りしなければなりません。それが、これほど大変なことだとは、妻が元気でいてくれた頃には想像だにしませんでした。

何か判断に迷うことがあるたびに、「家内だったらどうしただろう」と自問してしまいます。答えはもちろん返ってきませんが、そうした問いを繰り返すことで、妻の存在の大きさをあらためて痛切に感じさせられています。夫婦そろって健在でいることの有り難みは、失って初めて、本当の意味で分かるものだ—今更ながら、しみじみと痛感させられている毎日です。

また、以前に比べて時間の経過がまるで違って感じられます。感覚的には、妻と暮らしていた頃の約3倍ものスピードで時間が過ぎていくようです。「光陰矢の如し」という格言は知っていましたが、これほどまでにそれを身に沁みて実感したことは、これまでの人生で一度もありませんでした。

## ■ 身体の具合について

腰部脊柱管狭窄症で、平成13年(2001年)と令和元年(2019年)の二度にわたり大きな手術を経験しておりますが、術後の経過は思わしくなく、両下肢―膝から下、足のつま先にかけて―の強い痺れと痛みにも今も悩まされ続けています。この痺れと痛みは近頃とりわけひどく、四六時中つきまっています。

もはや三度目の手術をする気力も体力もなく、強い鎮痛薬を頻りに服用しながらのその場凌ぎの生活が続いています。5分以上歩く場合は杖が欠かせず、しかも連続歩行はできないため、休み休みの歩行しかできません。近場の用事を済ませる際も、今では小型の電動アシスト自転車だけが頼りとなっています。

加えて、このところ体重が急激に落ちてきました。入浴中にふと鏡に映った自分の姿を見て、あまりの激やせぶりに我ながらビックリし、少々心配しているところです。

## ■ 久々の外出～大学同窓会関西支部会に参加して

昨年(令和7年)11月初旬、大学学部の同窓会関西支部会が大阪で開催され、久しぶりに大阪へ出かける機会を得ました。妻が逝ってから引きこもりがちだった私にとって、この外出はずいぶん気分転換になりました。

ただ、西梅田から会場までの往復を徒歩でこなししたのは、下肢にハンディを抱える身には相当な重荷でした。杖を突いていた右腕の上腕に強い筋肉痛が生じ、その痛みが一週間ほど続きました(苦笑)。それでも、久しぶりに旧知の顔々に会い、言葉を交わすことができたのは、何にも代えがたい喜びでありました。

## ■ テニスと地域活動～それが今の私の「生きがい」?

スポーツが好きな私は、足腰のハンディを抱えながらも、かろうじてテニススクールへの通いを続けております。もはや走ることはままならず、追えるボールの範囲は極めて限られてしまっていますが、それでもラケットを握る時間は、今の私にとって貴重な気晴らしです。やむを得ず「先手必勝の玉チラシ戦術」(笑)でゲームに臨む有様ですが、コートに立ているだけでも幸いと思うようにしています。

また、地元では老人クラブの会長と町会・自治会の副会長を兼務しており、来る4月には老人クラブのお世話を始めてちょうど20年の節目を迎えます。「生きているだけでもしんどい」と感じることもある昨今ですが、地域の皆さんのために動き続けることが、ある意味で今の私の日々の張り合い(?)でもあり、フラストレーションの根源でもあります!

■ 結びに

「癌に侵されて早世するよりは、長く生きていられるだけでもマシだ」～そう自分に言い聞かせながら、今日も一日を過ごしております。時に弱気になり、時にフラストレーションに押しつぶされそうにもなりますが、それでも何とか歩み続けています。

人生100年時代。皆様ご夫婦ともども健康で長生きされ、素敵な老後を過ごされますよう祈念しております。

私も健康に留意し、今年も学部同窓会・関西支部会に参加することを楽しみにしております。

以 上

## 定年後の夢

加藤 壽郎 (昭45農M)

40年にわたるサラリーマン生活が終止符を迎えようとしたころ、定年後の生活をどう過ごすか考えました。折角の自由時間を得られるのですから、何か新しいことを始めたいと考え、フランス語の勉強とピアノのレッスンを始めることにしました。また、子供のころから好きだった植物栽培を好き勝手にやりたいと考えていました。その他、40歳代から始めた家具づくりも定年後の趣味として続けましたが、そのことについては、同窓会報第五号で述べましたので、今回は省略します。

まず、フランス語の勉強を始めた動機を述べます。会社の仕事や個人旅行でフランスに行く機会が度々あったのですが、当時、現地の言葉が全く分かりませんでした。仕事では現地の方とつたない英語でやり取りをしておりましたが、現地の言葉を少しは理解したいと思っていました。美術館や劇場などに行くと、必ず SORTIE という案内板があります。出口のことですが、EXIT とは書いていないので、何のことかわかりませんでした。定年後も旅行などでフランスを訪れてみたいと思っておりましたので、少しは話せるようになろうとレッスンを始めました。

京都にある関西日仏学館でフランス語初級から習い始めましたが、家内から強く勧められたこともあって、語学留学をいたしました。フランス、ブリュターニュ地方にあるプレストという町の語学学校に行って一か月ほど勉強しました。写真は、当時のクラスメートと撮ったものです。現地では、ホームステイしましたが、それも楽しい思い出となっています。もう15年くらいまえのことになります。現在もフランス語学校に週一回通い続けていますが、ボケ防止としても、また、両国の文化の違いなどを感じたりもして、楽しんでいます。



ホームステイ先にて



プレスト語学学校のクラスメートと

もう一つ、新しく始めたのは、ピアノレッスンですが、それまで、ピアノの演奏はおろか、楽器の演奏をしたことがありません。なぜ、ピアノか？といいますが、弦楽器や吹奏楽器は、音をだすだけで大変そうですし、ピアノだったら鍵盤をたたけば、目指す音を出せるといった単純な動機です。まあ、何とかなるだろうと気楽に、近くのレッスン会場に通い始めました。まず、ピアノの鍵盤をたたく練習です。ピアノスポーツという教本があり、ドレミファソラシドを五本の指を使って正確に打鍵する訓練を繰り返し続けました。少し慣れてきたあたりで、楽曲の演奏を始めました。様々な曲がありますが、楽譜も初心者向けにアレンジしたものも多くあって、簡単バージョンを使って練習を続けました。私は、60代頃から、ヘバーデン結節と呼ばれる指の第一関節が変形する関節症を患っており、ピアノの白鍵と黒鍵をスムーズに打鍵するのに難儀しましたが、繰り返し練習して、で少しずつですが何とか上達は致しました。

しばらくすると、ピアノの先生からピアノの発表会に出るように誘われました。人前で演奏するなんぞとてもできることではないと思いましたが、練習の励みになると言われてしゅしゅ出演に応じました。シニアの発表会なので大げさな演奏会ではないのですが、それでも初めて皆さんの前で演奏した時は指が震え、数分の短い演奏を必死でやりました。それ以来、毎年12月に、阪急岡本駅近くにある演奏会場で恒例行事として出演しておりますが、まともに弾けたことは一切ありません。

皆さんの前で演奏すると緊張して冷静には弾けませんから、人前の演奏にすこしでも慣れるようにと、ストリートピアノを利用して練習することもありました。それでもまだまだまともに弾けません。毎日、少しずつ練習を続け、わずかな進歩を楽しみに、人前でまともな演奏ができるよう夢を追っています。



シニアピアノ発表会の様子

また、定年後の時間の余裕をフルに活用しようと、子供のころから好きだった植物いじりを再開しました。幸い、定年間近に小さな庭付きの一戸建てを手に入れることができました。本当に狭い庭なのですが、桜や梅などの花木類、バラ、ボタン、菊やその他の季節ごとの花々、レモン、八朔、柚子などの柑橘類、さまざまな種類のブドウ、イチジクやオリーブなど、隙間があれば何か植えております。野菜も少し植えていて、今はエンドウの収穫時期です。また、シイタケの原木栽培もわずかですがやっています。採れたての原木シイタケは美味しいですね。

数年前から、シャインマスカットの収穫ができるようになりました。もともと、ブドウは巨峰を植えていたのですが、最近はやりのシャインマスカットに切り替えました。ブドウの栽培自体はそれほど難しいものではありませんが、野生動物の被害で苦労しました。ちょうど実ったころ我が家のブドウ目当てにやってきます。最初は、カラスがきれいに食べていきました。そこで、庭全体に網を張って対策しました。それでカラスも諦めたようでやってこなくなったのですが、ある時から、庭のどこからか夜中に動物が入って、実ってきたブドウを食べて行ってしまうようになりました。ハクビシンかアライグマか、こんな街中でもいるんだらうかと疑問に思っておりましたが、住んでいる西宮市に相談したところ、捕獲ケージを貸してくれて、設置したとこと、アライグマを捕獲しました。しばらく前まで、家の裏側に竹林など、まだ開発されていない地区があり、そこからやってきたようです。二頭捕獲したのですが、それ以降は野生動物による害はなくなりました。

さて、シャインマスカットの栽培ですが、例年、4月中旬ころ、写真のようにブドウの花芽を持った芽が出てまいります。ここから、作業が忙しくなります。殺虫剤や殺菌剤などを定期的に散布したり、開花前後には種無しブドウにするための植物ホルモン処理(ジベレリンやフルメットの処理)をします。また、花が終わって小さな実がつき始めると、摘果をして、一つ一つの粒が大きくなるよう果実数を減らす作業をします。そのあとは、袋掛けをして8月末頃の収穫まで待ちます。ただ、その間も、コガネムシが来て、葉を食い散らしたり、べと病やうどん粉病が発生しますので、薬剤散布は欠かせません。このように収穫までの手間はかかりますが、大きく実った果実を見るとやりがいを感じます。昨年は、ブドウの黒とう病が新たに発生して、収穫を減らしました。今年是对策して、健康な果実をたくさん収穫したいと今から準備しています。



収穫間近のシャインマスカット



シャインマスカットの萌芽



編集後記 お陰様で第九号の会報をみなさまに配信することができました。ご寄稿いただきましたみなさまに感謝申し上げます。みなさまからのご意見、ご感想など、下記まで、お知らせいただければ幸いです。関西セコイア会のみなさま、今後ともぜひご支援のほどよろしく願い申し上げます。

(支部長 加藤壽郎)

事務局長 寺前朋浩 [kssequoia23@gmail.com](mailto:kssequoia23@gmail.com)

支部長 加藤壽郎 [jardin-kato@hera.eonet.ne.jp](mailto:jardin-kato@hera.eonet.ne.jp)